科目名: 保健体育 5a 英文名: Health and Physical Education 5b			
担当者: 塚本 祐也		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:グループワーク	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当なし	
工学科: 総合システム	学年:5	開講期:前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 0.5	授業形態: 実技	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「答案返却・解答」 [予習内容]: [復習内容]: 第 2週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 3週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 4週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 5週 「陸上競技レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 6週 「陸上競技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 7週 「陸上競技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 8週 「陸上競技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 9週 「陸上競技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第10週 「保健体育理論」 [予習内容]: [復習内容]: 第11週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第12週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第13週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]: 第14週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]: 第15週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]: 定期試験	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(C-G2)(D-G2)自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 ■教科書 「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編 スポーツルールブック ■参考文献 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式 保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(40%)、保健体育理論(定期考査)(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 本館 1 階 学生部 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス y-tsukamoto@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日 4 限目

科目名: 保健体育 5b 英文名: Health and Physical Education 5b			
担当者: 塚本 祐也		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: グループワーク	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング :該当なし	
工学科: 総合システム	学年:5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 0.5	授業形態: 実技	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「答案返却・解答」 [予習内容]: [復習内容]: 第 2週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 3週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 4週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 5週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 6週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 7週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 第 8週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]: 第 9週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]: 第10週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]: 第11週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]: 第12週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]: 第13週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]: 第14週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]: 第15週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]: 定期試験	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (C-G2) (D-G2) 自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 ■教科書 「保健体育概論」近畿地区高等専門学校体育研究会編 スポーツルールブック ■参考文献 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(1 回) 方式: 記述式 保健体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方を評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性(40%)、保健体育理論(定期考査)(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習してください。 2 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 本館 1 階 学生部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス y-tsukamoto@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日 4 限目

科目名: 解析学 5a 英文名: Analysis 5a			
担当者: 伊藤 豊治		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「ベクトル関数(空間ベクトルの復習)」 [予習内容]:空間ベクトルについて復習すること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 2週 「ベクトル関数(外積)」 [予習内容]:外積について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 3週 「ベクトル関数(ベクトル関数と曲面)」 [予習内容]:ベクトル関数と曲線について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 4週 「ベクトル関数(曲線と曲面)」 [予習内容]:曲線と曲面について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 5週 「スカラー場とベクトル場(勾配)」 [予習内容]:スカラー場について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 6週 「スカラー場とベクトル場(発散と回転)」 [予習内容]:ベクトル場の発散について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分)) 第 7週 「スカラー場とベクトル場(発散と回転)」 [予習内容]:ベクトル場の回転について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 8週 「ベクトル関数・スカラー場とベクトル場に関する演習」 [予習内容]:今まで学んだ内容について復習すること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 9週 「中間考査答案返却・解答、 線積分・面積分(スカラー場の線積分)」 [予習内容]:線積分について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第10週 「線積分・面積分(ベクトル場の線積分)」 [予習内容]:線積分について調べる(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第11週 「線積分・面積分(グリーンの定理)」 [予習内容]:グリーンの定理について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第12週 「線積分・面積分(面積分)」 [予習内容]:面積分について調べる(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第13週 「線積分・面積分(ガウスの発散定理)」 [予習内容]:ガウスの発散定理について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第14週 「線積分・面積分(ストークスの定理)」 [予習内容]:ストークスの定理について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第15週 「線積分・面積分に関する復習」 [予習内容]:今まで学んだ内容について復習する。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 定期試験 第1週から第8週までの講義内容について筆記試験(中間試験)を行う。(試験時間50分) 第9週から第15週までの講義内容について筆記試験(期末試験)を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 微積分学ⅠⅡ、線形代数学で学んだ内容をもとに、今まで扱われなかった単元を修得します。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1) ベクトル関数、スカラー場、勾配、発散と回転、ベクトルの積分、線積分、面積分等の基本的考えを理解し、具体的な計算ができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 ■教科書 新応用数学 大日本図書 ISBN978-4-477-02716-6 各担当者作成プリント ■参考文献 なし ■関連科目 基礎数学、線形代数学、微分積分学Ⅰ・Ⅱ、応用数学、物理 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験 80%、課題・レポート・小テスト 20%を総合して評価します。 最終成績:2 回の定期考査成績の平均とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習および復習は、期限までに Google classroom または担当者へ提出すること。 10 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 伊藤豊治:本館 2 階 企画広報 授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス 伊藤豊治:titoh@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 伊藤豊治:月・水曜日 12:45～13:30

科目名: 解析学 5b 英文名: Analysis 5b			
担当者: 伊藤 豊治		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「ラプラス変換の定義と冪関数のラプラス変換」 [予習内容]:広義積分と極限の計算方法を確認する(30)分 [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 2週 「ラプラス変換の線形性と指数関数・三角関数のラプラス変換」 [予習内容]:部分積分の定義とはさみうちの原理を確認する(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 3週 「単位ステップ関数とラプラス変換の相似性・移動法則」 [予習内容]:今まで習った関数のラプラス変換を確認しておく。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 4週 「ラプラス変換の微分法則と積分法則」 [予習内容]:n次導関数の求め方を確認する(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 5週 「ラプラス変換の小テストとその解説」 [予習内容]:第1週から第4週までの内容を見直す(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 6週 「逆ラプラス変換その1」 [予習内容]: 部分分数分解について確認しておく(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 7週 「逆ラプラス変換その2」 [予習内容]:部分分数分解について確認しておく(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 8週 「逆ラプラス変換の小テストとその解説」 [予習内容]:第6週と第7週の内容を見直す(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第 9週 「微分方程式への応用その1」 [予習内容]:1階線形微分方程式の様々な解き方を確認しておく(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第10週 「微分方程式への応用その2」 [予習内容]:1階線形微分方程式の様々な解き方を確認しておく(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第11週 「たたみこみ」 [予習内容]:逆ラプラス変換について復習する。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第12週 「線形システムの伝達関数とデルタ関数」 [予習内容]:平均値の定理の用い方を復習しておく(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第13週 「積分方程式」 [予習内容]:積分方程式について調べること。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第14週 「総復習と演習その 1」 [予習内容]:今まで学んだ内容について復習する。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 第15週 「総復習と演習その2」 [予習内容]:今まで学んだ内容について復習する。(30 分) [復習内容]:配布プリントの解答すること。(30 分) 定期試験 第1週から第15週までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 「ラプラス変換」について解説します。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)ラプラス変換・逆ラプラス変換する。 2. (A-G1)ラプラス変換を用いて微分方程式を解く。 3. (A-G1)ラプラス変換の応用例を知る。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 ■教科書 新応用数学 大日本図書 ISBN978-4-477-02716-6 各担当者作成プリント ■参考文献 なし ■関連科目 基礎数学、線形代数学、微分積分学Ⅰ・Ⅱ、応用数学、物理 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(1 回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験 80%、課題・レポート・小テスト 20%を総合して評価します。 最終成績:2 回の定期考査成績の平均とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習および復習は、期限までに Google classroom または担当者へ提出すること。 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 伊藤豊治:本館 2 階 企画広報 授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス 伊藤豊治:titoh@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 伊藤豊治:月・水曜日 12:45～13:30

科目名: 法学 a 英文名: Jurisprudence a			
担当者: 西 孝		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:地方銀行およびシンクタンクに勤務し、支店の経営、経済・産業調査を主に担当した。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング:	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 「授業タイトル」 第1週 「ガイダンス、法学とは、法と道徳、法と強制、法の目的等」 [予習内容]:不要 [復習内容]:法とは、法と道徳の違い、法の強制の方式-テキストを読む [予習、復習の方法は以下同じ](30 分) 第 2 週 「権利と義務、法の適用、裁判制度」 [予習内容]:裁判制度について(30分) [復習内容]:三審制の目的、狙い (20 分) 第 3 週 裁判の基準(法源、制定法、慣習法、判例、学説、条理) [予習内容]:裁判の基準について、テキストを読む (30 分) [復習内容]:判例の裁判基準としての位置づけ(20 分) 第4週 「法の解釈(事実認定と法の解釈、解釈の指針、解釈の方法)」 [予習内容]:法の解釈の指針とするべきもの(30 分) [復習内容]:法の解釈の種類(20 分) 第5週 製造業における品質データ偽装の法的な意味 [予習内容]:製造業の品質データ偽装の事例を調べる (30分) [復習内容]:データ偽装の法的な意味について(20分) 第6週 「法の分類(公法と私法の区分)、実定法の体系、国家と憲法」 [予習内容]:公法とは、私法とは(30 分) [復習内容]:近代憲法の意味、役割(20 分) 第7週 「日本国憲法の成立、基本原則」 [予習内容]:日本国憲法の成立の経緯、前文を読む(30 分) [復習内容]:日本国憲法の基本原則について(30 分) 第8週 「国民主権、代表民主制、天皇」 [予習内容]:憲法第1章(第 1 条〜8条)の条文を読む(30分) [復習内容]:天皇の国事行為について(20分) 第9週 「平和主義、憲法改正論議と第9条」 [予習内容]:憲法第2章を読む(20分) [復習内容]:憲法改正論議の整理(20分) 第10週 「基本的人権、国民の権利及び義務 その1」 [予習内容]:第3章10条〜14条を読む(30分) [復習内容]:第 14 条 法の下の平等について(30 分) 第 11 週 「基本的人権 国民の権利及び義務 その2」 [予習内容]:憲法第3章 15条〜23 条(30分) [復習内容]:思想、良心の自由、信教の自由について(20分) 第 12 週 「基本的人権 国民の権利及び義務 その 3」 [予習内容]:憲法第 3 章 24 条〜40 条(30分) [復習内容]: 25条について(20分) 第 13 週 「権力分立 その 1 第 4 章国会、第 5 章内閣」 [予習内容]:41条〜61条を読む(30分) [復習内容]:第5章内閣(20分) 第 14 週 「権力分立 その 2 第 6 章司法、第 7 章財政 その他」 [予習内容]:76条〜91条を読む(30分) [復習内容]:財政(20分) 第15週 「まとめ、振り返り」 [予習内容]:不要 [復習内容]:全体の復習(2時間) 定期試験 期末に講義内容に関する筆記試験(50分)をおこないます。	■授業概要・方法等 法学に関する、基本的な内容を講義する。テキストだけでなく、個人の生活やビジネスの場面における具体的なケースの紹介、新聞記事等を題材にするなどして、法との関わりを身近に感じることができる講義とします。実務経験でえた知識にもとづいて、実践的な視点からも法について解説します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)法制度や法律の基本的考え方、成り立ち、適用などについて理解し、それを説明する 2. (D-G1)実社会での法や制度に対する理解力、判断力を身につけ、適切に判断する ことができるようになります。 この科目の履修は、本校のディプロマポリシーD の達成に寄与するものです。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答を教室に掲示します。また学生に個別に答案を開示します。 ■教科書 伊藤正巳・加藤一郎『現代法学入門[第 4 版]』有斐閣双書 ISBN4-641-11256-8 (法学bでもこの教科書を使用します) ■参考文献 憲法、その他の条文『プレップ法学を学ぶ前に』道垣内弘人著 弘文堂 ISBN978-4-335-31312-7 ■関連科目 法学 b ■成績評価方法および基準 期末試験(1回)、方式:記述および択一、穴埋(成績評価には入れないが、1回以上、理解度確認テストをおこないます。) 授業への参加態度が悪い、意欲が低く、改善が見られない場合は、減点の対象とします(最大20点)。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上〜90 点未満「優」GP「3」、70 点以上〜80 点未満「良」GP「2」、60 点以上〜70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 教科書とおよび条文の精読に加え、法改正などに関する新聞記事などからの知識吸収を心がけて欲しい。「予習メモ」を配布するので、それに授業までに該当する授業内容の予習成果を記入し提出してもらいます。それを確認の上、返却します。復習の成果は、指定期限までに google class room 上で「課題」に回答してもらうことで確認します。 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 2号館2階 共通教育教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜12:00〜13:00、13:50〜14:30

科目名: 法学b 英文名: Jurisprudence b			
担当者: 西 孝		開講年度: 2020年度(令和2年度)	
実務経験の内容:地方銀行およびシンクタンクに勤務し、支店の経営、経済・産業調査を主に担当した。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第1週 ガイダンス、家族法、財産法について [予習内容]:不要 [復習内容]:家族法が規定する法律関係の概要--テキストを読む [※予習、復習の方法は以下同じ](30分) 第2週 家族法の基本原則、親族の範囲、婚姻と離婚 [予習内容]:親族とは(30分) [復習内容]:法律婚主義について(20分) 第3週 親子(嫡出子、非嫡出子、養子)、扶養 [予習内容]:親子とは (30分) [復習内容]:扶養について(20 分) 第4週 相続 [予習内容]:法定相続分 (30分) [復習内容]:相続分の計算(20分) 第5週 財産法 ー 内容、基本原則 [予習内容]:財産法の基本原則(30分) [復習内容]:契約侍従の原則について(20分) 第6週 理解度確認テスト [予習内容]:行為能力について(30分) [復習内容]:制限行為能力者制度について(20分) 第7週 取引の主体 [予習内容]:行為能力について(30分) [復習内容]:制限行為能力者制度について(20分) 第8週 取引の客体(動産、不動産、物権権) [予習内容]:不動産と動産の定義について(30分) [復習内容]:物権の種類について(30分) 第9週 債権、有価証券 [予習内容]:債権の定義(30分) [復習内容]:債権の法的性質(20分) 第10週 契約の種類、性質 [予習内容]:契約の定義、契約自由の原則について(30分) [復習内容]:契約自由の原則について(20分) 第11週 「意思表示(錯誤、虚偽表示、無効と取消の違い)」 [予習内容]:錯誤について(30 分) [復習内容]:無効と取消の意味、効果(30分) 第12週 物権変動に関わる問題 [予習内容]:物権変動の対抗要件について [復習内容]:同時履行の抗弁権について(30分) 第13週 契約の履行、不法行為による損害賠償 [予習内容]:契約不履行の形態について(30分) [復習内容]:債務不履行により発生する問題 第14週 労働と法 [予習内容]:労働法とは(30分) [復習内容]:労働基準法の役割(20分) 第15週 「まとめ、振り返り」 [予習内容]:不要 [復習内容]:全体の復習(2時間) 定期試験 期末に講義内容に基づく筆記試験(50分)をおこないま	■授業概要・方法等 法学に関する基本的な内容を講義する。テキストだけでなく、個人の生活やビジネスの場面における具体的なケースの紹介、新聞記事等を題材にするなどして、法との関わりを身近に感じることができるよう講義します。その過程では、実務経験により得られた知識を用いながら理解を促します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)法制度や法律の基本的考え方、成り立ち、適用などについて理解し、それを説明する 2. (D-G1)実社会での法や制度に対する理解力、判断力を身につけ、反適切に判断する ことができるようになります。 この科目の履修は、本校のディプロマポリシーDの達成に寄与するものです。 ■使用言語 日本語 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答を教室に掲示する。また学生に個別に答案を示しながら、コメントします。 ■教科書 伊藤正巳・加藤一郎『現代法学入門[第4版]』有斐閣書 (ISBN4-641-11256-8) (法学aと同じ教科書を用います) ■参考文献 憲法、民法その他の条文 ■関連科目 法学a ■成績評価方法および基準 定期試験(期末試験1回)、記述および択一、穴埋(成績評価には反映されないが、最低1回、理解度確認試験をおこないます。) 授業への参加態度が悪い、意欲が低く、改善が見られない場合は減点の対象とします(最大20点)。 定期考査成績:定期試験(中間、期末試験)100%で評価します。 最終成績:定期考査成績の点数。 90点以上「秀」GP「4」、80点以上～90点未満「優」GP「3」、70点以上～80点未満「良」GP「2」、60点以上～70点未満「可」GP「1」、60点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し60点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 教科書および条文の精読に加え、法改正などに関する新聞記事などからの知識吸収を心がけて欲しい。「予習メモ」を配布するので、それに授業までに該当する授業内容の予習成果を記入し提出してもらいます。それを確認の上、返却します。復習の成果は、指定期限までにgoogle classroom上で「課題」に回答してもらうことで確認します。講義中にノートをとり、それに基づき復習し、知識定着化をはかることを期待します。 2月に学修時間に関する調査を実施します。 ■授業評価アンケート実施方法 2月にWebにてアンケートを実施します。 ■教員所在場所 2号館2階 共通教育教員室 ■メールアドレス tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日12:00～13:00、13:50～14:30

科目名: 英語特講 a 英文名: English for International Communication and Presentation a			
担当者: 福岡 玲子		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:なし		アクティブ・ラーニングの形態:プレゼンテーション	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期:前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「Ch1.Sec1: The History of our school①」 [予習内容]:Sample speech を読んでプレゼンテーションを知る(60 分) [復習内容]:復習、英語のプレゼンテーションとは(60 分) 第 2週 「Ch1.Sec.1: The History of our school②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(90 分) [復習内容]:考えたスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第 3週 「Ch1.Sec2: My Favorite Country①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第 4週 「Ch1Sec2: My Favorite Country②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(90 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第 5週 「Ch1.Sec3:The Four Basic Food Groups①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第 6週 「Ch1.Sec3:The Four Basic Food Groups②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(60 分) 第 7週 「Ch1.Sec1-3 の総復習、文法、語語彙表現、話し方など」 [予習内容]:ミニプレゼンテーションの練習(60 分) [復習内容]:学習範囲の総復習、プレゼンテーションの練習(60 分) 第 8週「学習範囲の試験およびミニプレゼンテーション発表」 [予習内容]:学習範囲の総復習、ミニプレゼンテーションの練習(90 分) [復習内容]:発表したミニプレゼンテーションの復習(30 分) 第 9週「Ch1.Sec4:Japan's Education System①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第10週「Ch1.Sec4:Japan's Education System②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(60 分) 第11週「Ch1.Sec5:What is Science?①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(60 分) 第12週「Ch1.Sec5:What is Science?②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(60 分) 第13週「Ch1.Sec4-5 の総復習、文法、語語彙表現、話し方など」 [予習内容]:ミニプレゼンテーションの練習、スピーチ原稿について考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第14週「学習範囲の試験、作成したプレゼンテーションの確認及び練習」 [予習内容]:学習範囲の総復習(60 分) [復習内容]:学習範囲の総復習、プレゼンテーションの練習(60 分) 第15週「プレゼンテーションの発表」 [予習内容]:プレゼンテーションの暗記および音読練習(90 分) [復習内容]:発表したプレゼンテーションの復習(30 分)	■授業概要・方法等 小グループによる実践的かつ自発的な英会話を通して、国際コミュニケーションのための英語を習得します。具体的には、一人で行う場合、パワーポイント資料を用いて 5 分間の、チームで行う場合、3 名一組で 10 分間、原稿を見ずに英語プレゼンテーションおよび英語での質疑応答ができるよう訓練します。また、希望者は、高専英語プレゼンテーション近畿地区大会の参加者に応募できます。 ■使用言語 英語、日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1) 英語の学習を通して、異文化に対する理解を深める。 2. (E-G2)(E-2) 英語のスピーキング能力を向上させる。 3. (E-G2)(E-2) 英語のリスニング能力を向上させる。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー D、E の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。プレゼンテーション、課題については実施後にその評価点を個々に開示。 ■教科書 COLLEGE PRESENTATION 金星堂 ISBN978-4-7647-4099-0 ■参考文献 なし ■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、TOEIC プラス、外国語文献購読 ■成績評価方法および基準 In Class Examination および提出物 30% Presentation 70% 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習は教科書および Handouts and worksheets など指定の英文を熟読し、分からない単語などは随時辞書などで調べて自分なりに理解をする。復習は授業時に学習した内容を見直し、理解をさらに深めてくること、また自信をもって発表できる能力が評価対象のため、プレゼンテーション英文の音読を反復練習すること。 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 2 号館 2 階 共通教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日(12:25～12:55)

科目名: 英語特講 b 英文名: English for International Communication and Presentation b			
担当者: 福岡 玲子		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:なし		アクティブ・ラーニングの形態:プレゼンテーション ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「Ch1.Sec6:Social Networking Services①」 [予習内容]:Sample speech を読んでプレゼンテーションを知る(60 分) [復習内容]:復習、英語のプレゼンテーションとは(60 分) 第 2週 [Ch1.Sec6:Social Networking Services ②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(90 分) [復習内容]:考えたスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第 3週 「Ch2.Sec3:Global Warming: What Is To Be Done?①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第 4週 「Ch2.Sec3:Global Warming: What Is To Be Done?②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(90 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第 5週 「Ch2.Sec6:Hybrid or Electric?①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第 6週 「Ch2.Sec6:Hybrid or Electric?②」 [予習内容]:テーマに沿ったスピーチの骨格を考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(60 分) 第 7週 「Section1-3 の総復習、文法、語語彙表現、話し方など」 [予習内容]:ミニプレゼンテーションの練習(60 分) [復習内容]:学習範囲の総復習、プレゼンテーションの練習(60 分) 第 8週 「学習範囲の試験およびミニプレゼンテーション発表」 [予習内容]:学習範囲の総復習、ミニプレゼンテーションの練習(90 分) [復習内容]:発表したミニプレゼンテーションの復習(30 分) 第 9週 「Ch3.Sec1:Informative Presentations①」 [予習内容]:Sample speech を読んで理解学習する(60 分) [復習内容]:スピーチにおける話し方、表現力を知る(60 分) 第10週 「Ch3.Sec1:Informative Presentations②」 [予習内容]:Sample Speech の熟読理解(60 分) [復習内容]:Sample Speech の英文を理解し復習(60 分) 第11週 「Ch3.Sec1:Informative Presentations の学習範囲試験」 [予習内容]:Sample Speech を熟読および深く理解する(90 分) [復習内容]:試験範囲の復習 第12週 「Ch3.Sec1:Informative Presentations③プレゼンテーションパターンの学習」 [予習内容]:brainstorming による考察、調査(30 分) [復習内容]:考察、調査をもとにプレゼンテーションの構成案を考える(90 分) 第13週 「Ch3.Sec1:Informative Presentations④プレゼンテーション構成案をもとに組み立て」 [予習内容]:プレゼンテーションの練習、スピーチ原稿について考える(60 分) [復習内容]:作成したスピーチを覚え、読む練習(30 分) 第14週 「作成したプレゼンテーションの確認および発表」 [予習内容]:プレゼンテーションの暗記および音読練習(90 分) [復習内容]:発表したプレゼンテーションの復習(30 分) 第15週 「作成したプレゼンテーションの確認および発表」 [予習内容]:プレゼンテーションの暗記および音読練習(90 分) [復習内容]:発表したプレゼンテーションの復習(30 分)	■授業概要・方法等 小グループによる実践的かつ自発的な英会話を通して、国際コミュニケーションのための英語を習得します。具体的には、一人で行う場合、パワーポイント資料を用いて 5 分間の、チームで行う場合、3 名一組で 10 分間、原稿を見ずに英語プレゼンテーションおよび英語での質疑応答ができるよう訓練します。また、希望者は、高専英語プレゼンテーション近畿地区大会の参加者に応募できます。 ■使用言語 英語、日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1) 英語の学習を通して、異文化に対する理解を深める。 2. (E-G2)(E-2) 英語のスピーキング能力を向上させる。 3. (E-G2)(E-2) 英語のリスニング能力を向上させる。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー D、E の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行う。プレゼンテーション、課題については実施後にその評価点を個々に開示。 ■教科書 杉田 由仁/リチャードキャラカー著 Writing for Presentations in English ～ライティングで学ぶ英語プレゼンテーションの基礎～ 南雲堂 ISBN978-4-523-17731-9 ■参考文献 なし ■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、TOEIC プラス、外国語文献購読 ■成績評価方法および基準 In Class Examination 40% In Class Presentation 40% 作業プリント、ノート、その他授業に関連する課題など 20% 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習は教科書および Handouts and worksheets など指定の英文を熟読し、分からない単語などは随時辞書などで調べて自分なりに理解をする。復習は授業時に学習した内容を見直し、理解をさらに深めてくること、また自信をもって発表できる能力が評価対象のため、プレゼンテーション英文の音読を反復練習すること。 2 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 2 号館 2 階 共通教員室 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日(12:25～12:55)

科目名: TOEIC プラス a 英文名: TOEIC PLUS a			
担当者: 高畑 時子		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:該当有り ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当有り	
工学科:総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別:選択	単位数: 1.5	授業形態: 演習	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 Unit 1 (Part 1:物の位置と状態を聞きとる, 5:語幹を共有する名詞, 動詞, 形容詞, 副詞) [予習内容]:教科書を用意し内容にざっと目を通し、TOEIC の試験内容について把握すること(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 2週 Unit 2 (Part 2:疑問文, 6:要注意な英語の語順, 7:広告文) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 3週 Unit 3 (Part 3:電話での会話, 5:数にからんだ語の用法 ①) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 4週 Unit 4 (Part 4:スピーチ, 6:数の用法②, 7:チャットのやり取り) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 5週 Unit 5 (Part 1:人物の動作と様子, 5:現在形と未来の表現) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 6週 Unit 6 (Part 2:Wh-疑問文, 6:過去形と完了形, 7:図表と文書) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 7週 Unit 7 (Part 3:カジュアルな日常会話, 5:比較表現①) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 8週 Unit 8 (Part 4:録音メッセージ, 6:比較表現②, 7:新聞雑誌記事), Unit 9 (Part 1:建物と乗り物の関係, 5:文の結合表現) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 9週 Unit 10 (Part 2:質問に対応, 6:文の結合, 7:求人広告と応募) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 10週 Unit 11 (Part 3:同僚との対話, 5:V-ing, V-ed の使い分け) Unit 12 (Part 4:案内放送, 6:V-ing と V-ed ②, 7:告知文) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 11週 Unit 13 (Part 1:複数の人物の様子, 5:紛らわしい動詞) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 12週 Unit 14 (Part 2:How と Why, 6:前置詞の表現, 7:説明文とレシピ), Unit 15 (Part 3:ビジネス会話, 5:不定詞の重要表現①) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 13週 Unit 16 (Part 4:ガイドの説明, 6:不定詞, 7:社内文書) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 14週 Unit 17 (Part 1, 5), Unit 18 (Part 2, 6:条件と仮定法, 7) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 第 15週 Unit 19 (Part 3:オフィス内の会話, 5:疑問詞・関係詞・接続詞), Unit 20 (Part 4:ニュース, 6:要注意な助動詞, 7:説明書) [予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分) [復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分) 定期試験 (第1週から第15週までの講義内容について 50 分間の筆記試験を行う。)	■授業概要・方法等 TOEIC の問題を正確に、沢山解くことで TOEIC の問題に慣れ、450 点以上取得を目標にリスニング・語彙力・文法力・読解力など英語力を総合的に向上させます。基本的には教科書通りに進むが、TOEIC 特有の英熟語小テストも毎回行い、様々な視聴覚メディア教材も用いて効率良く目標点を達成できるようにします。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) TOEIC 頻出単熟語に慣れ、450 点取得に必要な 300 語を覚える。 2. (E-G2) TOEIC の問題形式に慣れ、読解問題を正確により早く解く。 3. (E-G2) リスニング問題をディクテーション、レシテーションを行いつつ解くことにより、聴解力を養う。さらに、オーバーラッピング、シャドウイングも行うことにより、聴解力だけでなく、読解力、速読力およびスピーキングやライティング力も含めた英語力を総合的に高める。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE 達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 小テスト・定期試験共に試験返却時に模範解答と学生の試験答案開示を個々に行います。 ■教科書 『Effective Approaches to the TOEIC® L&R Test (Revised Edition)』 田中清美他 南雲堂 ISBN: 978-4-523-17915-3 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ (TOEIC TEST 特急シリーズ)』 TEX 加藤 朝日新聞出版 ISBN: 4023315680 ■参考文献 英和辞書を持参のこと。 ■関連科目 「外国文献講読」(5 年選択) ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(1 回), 方式:記述式 定期考査成績:定期試験 60%、課題か小テスト 40%の割合で評価する。 最終成績:90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。なお、TOEIC 公開テストか IP テストのいずれかで 400 点以上のスコアを取得すれば「秀」、350 点以上を「優」、325 点以上を「良」、300 点以上を「可」とし、定期試験と比較して良い方を最終評価とします。その場合、成績表のコピーを提出のこと。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習は、毎回行う単語テストに備え、提示された範囲の単熟語を暗記すること。また、次に進む範囲の不明な語句を予め辞書で調べること。復習は、授業時に学習した内容を見直し、特に間違った問題に対しては、なぜ間違ったのかをしっかりと見直し、授業で指定された単語、熟語、表現を覚えておくこと。 10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館2階 学習指導室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 特に定めず、アポイントメントによります。

科目名: TOEIC プラス b 英文名: TOEIC PLUS b			
担当者: 高畑 時子		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:該当有り ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当有り	
工学科:総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別:選択	単位数: 1.5	授業形態: 演習	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 Introduction 模試の実施
[予習内容]:教科書を用意し内容にざっと目を通し、TOEIC の試験内容について把握すること(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 2週 TEST 1, Listening: Part 1, Reading: Part 5 (1)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 3週 TEST 1, Listening: Part 2 (1), Reading: Part 5 (2)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 4週 TEST 1, Listening: Part 2 (2), Reading: Part 6
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 5週 TEST 1, Listening: Part 2 (3), Reading: Part 7, Single Passage (以降、SP と略す) (1)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 6週 TEST 1, Listening: Part 3 (1), Reading: Part 7, SP (2)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 7週 TEST 1, Listening: Part 3 (2), Reading: Part 7, SP (3)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 8週 Review (1)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 9週 TEST 1, Listening: Part 3 (3), Reading: Part 7, Double Passage (以降、DP と略す) (1)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 10週 TEST 1, Listening: Part 3 (4), Reading: Part 7, DP (2)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 11週 TEST 1, Listening: Part 4 (1), Reading: Part 7, DP (3)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 12週 TEST 1, Listening: Part 4 (2), Reading: Part 7, Triple Passage (以降、TP と略す) (1)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 13週 TEST 1, Listening: Part 4 (3), Reading: Part 7, TP (2)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 14週 TEST 1, Listening: Part 4 (4), Reading: Part 7, Part 7, TP(3)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

第 15週 Review (2)
[予習内容]:不明な単語を調べ、本文の大意を掴むこと(60 分)
[復習内容]:間違った問題を再考し見直しすること(60 分)

定期試験 (第1週から第15週までの講義内容について 50 分間の筆記試験を行う。)

授 業 概 要

■授業概要・方法等
TOEIC の問題を正確に、沢山解くことで TOEIC の問題に慣れ、600 点以上取得を目標に準備しつつ、リスニング・語彙力・文法力・読解力など英語力を総合的に向上させます。基本的には教科書通りに進みますが、TOEIC 特有の英熟語の小テストも毎回行い、様々な視聴覚メディア教材も用いて効率良く目標点を達成できるようにします。

■使用言語 日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2) TOEIC 頻出単熟語に慣れ、450 点取得に必要な 300 語を覚える。
2. (E-G2) TOEIC の問題形式に慣れ、読解問題を正確により早く解く。
3. (E-G2) リスニング問題をディクテーション、レシテーションを行いつつ解くことにより、聴解力を養う。さらに、オーバーラッピング、シャドウイングも行うことにより、聴解力だけでなく、読解力、速読力およびスピーキングやライティング力も含めた英語力を総合的に高める。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
小テスト・定期試験共に試験返却時に模範解答と学生の試験答案開示を個々に行います。

■教科書『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』 ETS ISBN: 978-4-906033-61-4
『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ (TOEIC TEST 特急シリーズ)』 TEX 加藤 朝日新聞出版 ISBN: 4023315680

■参考文献 英和辞書を持参のこと。

■関連科目 「外国文献講読」(5 年選択)

■成績評価方法および基準
種類:定期試験(1 回), 方式:記述式
定期考査成績:定期試験 60%、課題か小テスト 40%の割合で評価する。
最終成績:90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。なお、TOEIC 公開テストか IP テストのいずれかで 450 点以上のスコアを取得すれば「秀」、400 点以上を「優」、350 点以上を「良」、325 点以上を「可」とし、定期試験と比較して良い方を最終評価とする。その場合、成績表のコピーを提出のこと。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
予習は、毎回行う単語テストに備え、提示された範囲の単熟語を暗記すること。また、次に進む範囲の不明な語句を予め辞書で調べること。復習は、授業時に学習した内容を見直し、特に間違った問題に対しては、なぜ間違ったのかをしっかりと見直し、授業で指定された単語、熟語、表現を覚えておくこと。
2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所 図書館2階 学習指導室

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp

■オフィスアワー 特に定めず、アポイントメントによります。

科目名: 外国文献講読 a 英文名: English Reading a			
担当者: 高畑 時子		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:該当有り ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当有り	
工学科:総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別:選択	単位数: 1	授業形態: 演習	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 Introduction.
[予習内容]:教科書や(電子)辞書の用意。目次を見ておく。
[復習内容]:Introduction で説明した内容を確認しておく。

第 2 週 練習問題1 文法復習①。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題1を再読し、内容の理解を深めること。

第 3 週 練習問題2 文法復習②。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題2を再読し、内容の理解を深めること。

第 4 週 練習問題3 環境問題とリサイクル処理の工程。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題3を再読し、内容の理解を深めること。

第 5 週 練習問題4 製品の原材料。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題4を再読し、内容の理解を深めること。

第 6 週 練習問題5 自然食品会社。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題5を再読し、内容の理解を深めること。

第 7 週 練習問題6 製品イノベーション工場。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題6を再読し、内容の理解を深めること。

第 8 週 練習問題7 従業員契約書。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題7を再読し、内容の理解を深めること。

第 9 週 Review.
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:これまで解いた問題を再読し、内容の理解を深めること。

第 10 週 練習問題8 ソフトウェアの開発。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題8を再読し、内容の理解を深めること。

第 11 週 練習問題9 写真撮影機材。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題9を再読し、内容の理解を深めること。

第 12 週 練習問題10 陸運及び海運輸業務。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題10を再読し、内容の理解を深めること。

第13 週 練習問題11 化学製品会社の営業会議。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題11を再読し、内容の理解を深めること。

第14 週 練習問題12 ソフトウェアテクノロジー企業。
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:練習問題12を再読し、内容の理解を深めること。

第 15 週 Review
[予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。
[復習内容]:これまで解いた問題を再読し、内容の理解を深めること。

授 業 概 要

■授業概要・方法等
この授業では、主に多様なジャンルの英文読解を行います。新聞雑誌記事、検定試験や大学の編入学入試過去問など様々な教材を用いて、理解できる文章の数を増やすことで、複雑な構文かつ抽象的な内容の学術的文章にも慣れ、正確に、また、出来るだけ早く読めるように訓練します。その際、様々な視聴覚メディア教材も用いながら語彙学習、構文学習、音読等を行い、文章の理解力の向上を図ります。
授業時間の前半に、各自予習してきた英文問題の解釈の説明がされます。後半では、復習をして自分が間違った場所の自己理解を深め、単熟語の暗記等に充てます。毎週その作業を繰り返すことで、大学の編入試験や英語の各種検定試験の読解問題等も解ける力を付けていきます。またフレーズやパラグラフをインプットすることで、ライティングやスピーキングなどのアウトプットの場でも活かせるようにします。

■使用言語 日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (D-G1)(E-G2) 基礎的単語や表現を知る。
2. (D-G1)(E-G2) 文章の基礎的構文を学ぶ。
3. (D-G1)(E-G2) 学術英語を含む多様なジャンルの文章への関心を高め、読解する。
4. (D-G1)(E-G2) 文章をスムーズに音読し、作文や口頭発表にも応用する。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD、E の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験返却時に模範解答と学生の試験答案開示を個々に行います。課題の間違いの多い問題については授業中に説明します。

■教科書 授業中にプリントを配布します。

■参考文献
辞書を持参・使用のこと。

■関連科目 英語

■成績評価方法および基準
種類:定期テスト 60%, 提出物か小テストの平常点 40%で評価します。
最終成績:90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
授業開始前に単語や文法について調べるなどして本文に目を通しておくこと。テキストの読解をまずは自分で行うことが必要です。辞書を引いても分からない箇所は、授業中に質問し、不明な個所を無くすこと。
10 月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所 図書館2階 学習指導室

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にて授業アンケートを実施します。

■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp

■オフィスアワー 特に定めず、アポイントメントによります。

科目名: 外国文献講読 b 英文名: English Reading b			
担当者: 高畑 時子		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当あり	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科:総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別:選択	単位数: 1	授業形態: 演習	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 Introduction. [予習内容]:教科書や(電子)辞書の用意。目次を見ておく。 [復習内容]:Introduction で説明した内容を確認しておく。 第 2 週 練習問題1 文法復習①。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題1を再読し、内容の理解を深めること。 第 3 週 練習問題2 文法復習②。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題2を再読し、内容の理解を深めること。 第 4 週 練習問題3 交通信号制御キャビネット。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題3を再読し、内容の理解を深めること。 第 5 週 練習問題4 ロボット技術使用の実現可能性。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題4を再読し、内容の理解を深めること。 第 6 週 練習問題5 エレベーターの年次点検。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題5を再読し、内容の理解を深めること。 第 7 週 練習問題6 製品の故障と修理。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題6を再読し、内容の理解を深めること。 第 8 週 練習問題7 電力会社の電力供給業務。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題7を再読し、内容の理解を深めること。 第 9 週 Review. [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:これまで解いた問題を再読し、内容の理解を深めること。 第 10 週 練習問題8 オンラインで行える事業の種類。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題8を再読し、内容の理解を深めること。 第 11 週 練習問題9 森林の再生。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題9を再読し、内容の理解を深めること。 第 12 週 練習問題10 歴史的建造物の保護と道路改良工事。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題10を再読し、内容の理解を深めること。 第13 週 練習問題11 各素材、材料と耐久性。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題11を再読し、内容の理解を深めること。 第14 週 練習問題12 写真撮影機材。 [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:練習問題12を再読し、内容の理解を深めること。 第 15 週 Review [予習内容]:語彙を調べ、構文や内容を予測すること。 [復習内容]:これまで解いた問題を再読し、内容の理解を深めること。	■授業概要・方法等 前期に引き続き、主に多様なジャンルの英文読解を行います。新聞雑誌記事や検定試験などを教材として採り上げ、精読できる文章の数を増やすことで、複雑な構文かつ抽象的な内容の学術的文章にも慣れていき、正確に、また、出来るだけ早く読めるように訓練します。その際、様々な視聴覚メディア教材も用いながら語彙学習、構文学習、音読等を行い、文章の理解力の向上を図ります。授業時間の前半に、各自予習してきた英文問題の解釈の説明がされます。後半では、復習をして自分が間違った場所の自己理解を深め、単熟語の暗記等に充てます。毎週その作業を繰り返すことで、英語の各種検定試験の読解問題等も解ける力を付けていきます。またフレーズやパラグラフをインプットすることで、ライティングやスピーキングなどのアウトプットの場でも活かせるようにします。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(E-G2) 基礎的単語や表現を知る。 2. (D-G1)(E-G2) 文章の基礎的構文を学ぶ。 3. (D-G1)(E-G2) 学術英語を含む多様なジャンルの文章を読解する。 4. (D-G1)(E-G2) 文章をスムーズに音読し、作文や口頭発表にも応用する。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD、E の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験返却時に模範解答と学生の試験答案開示を個々に行います。課題の間違いの多い問題については授業中に説明します。 ■教科書 授業中にプリントを配布します。 ■参考文献 辞書も持参・使用のこと。 ■関連科目 英語 ■成績評価方法および基準 種類:定期テスト 60%, 提出物か小テストの平常点 40%で評価します。 最終成績:90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 授業開始前に単語や文法について調べるなどして本文に目を通しておくこと。テキストの読解をまずは自分で行うことが必要です。辞書を引いても分からない箇所は、授業中に質問し、不明な個所を無くすこと。 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館2階 学習指導室 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にて授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 特に定めず、アポイントメントによります。

科目名: 中国語 初級 a 英文名: Chinese (beginner's class)a			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 ガイダンス(中国語の概要及び授業の進め方) 予習内容:中国語の文字、文法の特徴について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 発音編(音節の成り立ち、母音1) 予習内容:中国語音節の成り立ち、声調、基本になる母音について調べること。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 3週 発音編(子音、母音2) 予習内容:子音、複合母音について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 発音編(母音3) 予習内容:鼻音を伴う母音, 軽声、発音のr化について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 5週 発音編(声調の変化、音節のつづり方1) 予習内容:第3声の変化、音節のつづり方について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 6週 発音編(音節のつづり方 2) 予習内容:音節のつづり方、声調符号の位置について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 発音編(発音の総合練習) 予習内容: 有気音と無気音の違い、単語や挨拶語の読み方について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週 第1課 人称代名詞、挨拶語、名字の聞き方 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第2課 感謝、お詫びの表現、別れの挨拶 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第11週 第3課 名前の聞き方、常用名字と名前 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週 第1課～第3課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題 1～3をまとめること(60分) 第13週 第4課 名詞述語文、"不"の声調変化、"也"の使い方 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題4をまとめること(60分) 第14週 第5課 反復疑問文、副詞"都" 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題5をまとめること(60分) 第15週 総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: この授業は初めて中国語を勉強するものを対象とし、中国語の発音から基本文型と初歩的な会話を学びます。授業は前半において発音・声調を集中的に習い、後半は挨拶語や名詞述語文を中心に基礎文法を修得しつつ、初歩的な会話練習を繰り返すことによって、発音・声調と基礎文型の習熟度を高めていきます。 授業方法: ①日本語ローマ字と比べながらピンインを教えます。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (E-G2) (E-2) 中国語発音記号(ピンイン)を読む、書く、聞く、話す 2. (E-G2) (E-2) 字引きを利用する 3. (E-G2) (E-2) 中国語で挨拶する 4. (E-G2) (E-2) 簡単な自己紹介をする ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(100%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式70%、リスニング 30% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語 初級ｂ 英文名: Chinese (beginner‘s class)b			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 第6課 指示代詞、疑問詞“什么”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第6課 指示代詞、疑問詞“什么”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題6をまとめること(60分) 第 3週 第7課 所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第7課 所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題7をまとめること(60分) 第 5週 第6課～第7課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第8課 動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第8課 動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題8をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週 第9課 形容詞述語文、反復疑問文2(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第9課 形容詞述語文、反復疑問文2(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題9をまとめること(60分) 第11週 第10課 所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週 第10課 所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題10をまとめること(60分) 第13週 第11課 動詞“在”、“一”の声調変化(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第14週 第11課 動詞“在”、“一”の声調変化(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題11をまとめること(60分) 第15週 総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 前期に引き続き、述語文を一通り学び、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(E-G2)(E-2) 新出単語を書く 2.(E-G2)(E-2) 各課の文法事項を把握する 3.(E-G2)(E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4.(E-G2)(E-2) 学習した単語や文型を利用して、簡単な文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕 白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は期末の1回、点数比率は記述式 80%, リスニング 20% 最終成績 :上記の定期考査成績の基準で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。2月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語 中級a 英文名: Chinese (intermediate class)a			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 第12課 助数詞、曜日(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第12課 助数詞、曜日(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題12をまとめること(60分) 第 3週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題13をまとめること(60分) 第 5週 第12課～第13課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第14課 時間、状態の変化“了”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第14課 時間、状態の変化“了”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題14をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 9週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題15をまとめること(60分) 第11週 第16課 時を表す文、一日の行動 (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週 第16課 時を表す文、一日の行動 (二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題16をまとめること(60分) 第13週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第14週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題17をまとめること(60分) 第15週 総復習 予習内容:第9週から第14週で学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 「中国語初級」で習得した発音を定着させつつ、基礎文法、基礎語彙、基礎会話を習得します。それにより中国語コミュニケーション基礎表現力の向上を図ります。 前期において、場所、時間、月日、曜日の表し方や疑問代詞、助数詞、動詞の重ね型などについて学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②単語、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(E-G2)(E-2) 新出単語を書く 2.(E-G2)(E-2) 各課の文法事項を把握する 3.(E-G2)(E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4.(E-G2)(E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式80%、リスニング20% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90点以上 「秀」GP「4」、80点以上～90点未満 「優」GP「3」、 70点以上～80点未満 「良」GP「2」、 60点以上～70点未満 「可」GP「1」、 60点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し60点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語 中級ｂ 英文名: Chinese (intermediate class)b			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 第18課 完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第18課 完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題18をまとめること(60分) 第 3週 第19課 連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第19課 連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題19をまとめること(60分) 第 5週 第18課～第19課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題20をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週 第21課 “会”、“能”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第21課 “会”、“能”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題21をまとめること(60分) 第11週 第21課の復習 予習内容:第21課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第12週 第22課 助動詞“要”、前置詞“跟”、“在” (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第13週 第22課 助動詞“要”、前置詞“跟”、“在”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題22をまとめること(60分) 第14週 第22課の復習 予習内容:第22課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第15週 総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 前期に引き続き、完了や経験などを表す文、連動文、伝聞の表現、助動詞や前置詞などについて学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く 2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する 3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は期末の1回、点数比率は記述式 80%, リスニング 20% 最終成績 :上記の定期考査成績の基準で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。2月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語 上級a 英文名: Chinese (upper class)a			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 第23課 持続の表現、動作の回数“次”、方位詞(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第23課 持続の表現、動作の回数“次”、方位詞(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題23をまとめること(60分) 第 3週 第24課 進行を表す“在”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第24課 進行を表す“在”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題24をまとめること(60分) 第 5週 第23課～第24課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第25課 主述述語文、助動詞“要”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第25課 主述述語文、助動詞“要”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題25をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週 第26課 前置詞“离”、副詞“就”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第26課 前置詞“离”、副詞“就”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題26をまとめること(60分) 第11週 第26課の復習 予習内容:第26課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第12週 第27課 程度補語、選択疑問文 (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第13週 第27課 程度補語、選択疑問文 (二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題27をまとめること(60分) 第14週 第27課の復習 予習内容:第27課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第15週 総復習 予習内容:第9週から第14週で学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 「中国語初級」、「中国語中級」で習得した発音、基礎文法、基礎語彙を定着させつつ、更なる文法事項や語彙、会話表現を習得します。 前期において、持続、進行を表す文や主述述語文、選択疑問文、方位詞、程度補語、前置詞“离”、副詞“就”などの使い方について学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(E-G2)(E-2) 新出単語を書く 2.(E-G2)(E-2) 各課の文法事項を把握する 3.(E-G2)(E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4.(E-G2)(E-2) 学習した単語や文型を利用して文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式80%、リスニング20% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90点以上 「秀」GP「4」、80点以上～90点未満 「優」GP「3」、 70点以上～80点未満 「良」GP「2」、 60点以上～70点未満 「可」GP「1」、 60点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し60点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語 上級b 英文名: Chinese (upper class)b			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態:該当なし ICTを活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修単位

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 第28課 “是･･･的”の文、二重目的語の文(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第28課 “是･･･的”の文、二重目的語の文(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題28をまとめること(60分) 第 3週 第29課 比較の文(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第29課 比較の文(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題29をまとめること(60分) 第 5週 第28課～第29課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第30課 結果補語、前置詞“从”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第30課 結果補語、前置詞“从”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題30をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週 第31課 方向補語、自然現象の表し方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第31課 方向補語、自然現象の表し方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題31をまとめること(60分) 第11週 第31課の復習 予習内容:第31課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第12週 第32課 “打算”、“祝”の使い方 (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第13週 第32課 “打算”、“祝”の使い方 (二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第14週 第32課の復習 予習内容:第32課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第15週 総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 後期において、過去の事実、2つ目的語をとる動詞、比較、結果補語、形容詞などについて学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(E-G2)(E-2) 新出単語を書く 2.(E-G2)(E-2) 各課の文法事項を把握する 3.(E-G2)(E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4.(E-G2)(E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は期末の1回、点数比率は記述式80%,リスニング20% 最終成績 :上記の定期考査成績の基準で算出します。 90点以上 「秀」GP「4」、80点以上～90点未満 「優」GP「3」、 70点以上～80点未満 「良」GP「2」、 60点以上～70点未満 「可」GP「1」、 60点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し60点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。2月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 韓国語　Ⅰa 英文名: Korean Language　Ⅰa			
担当者: 李　辰淑		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　1課: 韓国の紹介ハングル文字のしくみ 、
[予習内容]:ハングル文字の仕組みを事前に調べる 。(30 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、発音、文字を覚える。(60 分)

第 2週　1課 文字と発音(1) 単母音、初声、その1(鼻音・流音)
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音が一致するよう学習(30 分)
[復習内容]:発音と書き練習、文字を覚える。(60 分)

第 3週　1課 応用と復習　終声・その1
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音が一致するよう学習(30 分)
[復習内容]:文字の読み書きをしっかり覚える。(60 分)

第 4週　1課 応用と復習　2課文字と発音(2)初声。その 2(平音)
発音の規則・有声音化」
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:文を発音し書いて練習する。(60 分)

第 5週: 2課 半母音＋単母音、二重母音、発音の規則連音化
[予習内容]:WEB 学習で文字の読み書きの練習(30分)
[復習内容]:発音通りに文字を書いて声出して読む。(60 分)

第 6週 2課 応用と復習 3課 文字と発音(3)初声・その3激音
初声 4 (濃音)」
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:発音の仕組みを理解する。発音の練習(60 分)

第 7週 3課 終声その2、 発音の規則:濃音化
[予習内容]:WEB 学習で文字の読み書きの練習(30 分)
[復習内容]:発音の規則を理解する。発音の練習(60 分)

第 8週「答案返却と解答」
終声2、濃音化の復習
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:発音の規則を理解する。発音の練習(60 分)

第 9週 4課 韓国人です。鼻音化 。～は、～と申します
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、発音の規則、鼻音化理解(60 分)

第10週 4課 助詞、ハムニダ体の丁寧表現 ～です(ハムニダ体)
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の練習(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、丁寧表現の仕組みを理解する。
(60 分)

第11週 5課 韓国語は専攻ではありません。～が、～です(ヘヨ体)、
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:発音の規則激音化、助詞の使い分けの理解(60 分)

第12週 5課 ヘヨ体の丁寧表現、否定文～ではありません
「予習内容]:WEB、音声で文字と発音の練習をする。(30 分)
[復習内容]:丁寧表現、否定文の仕方を理解する。(60 分)

第13週 6課: 講義室は階段の横にあります。バッチム、漢数詞
[予習内容]:WEB、音声で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:二つの字母のバチムの発音の仕組みと漢数詞を理解する。(60 分)

第14週 6課 存在の有無をあらわす表現
[予習内容]:WEB、音声で日本と違う表現を理解する。(30 分)
[復習内容]:練習問題を通して日本と違う存在の表現になれるようにする。(60 分)

第15週 4課～6課までの応用と復習
[予習内容] 4課～6課までの内容をWEB 学習と音声を通して聞き取りが出来るようにする。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基に聞き取り、読み書きが出来、
自己表現出来るようにする(60 分)

定期試験:
第1週から15週まで授業内容について筆記とリスニング試験
(中間考査)(期末考査) (試験時間 50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで聞き取りや簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ないと思います。
韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にします。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせます。

■教科書
(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー
朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税

■参考文献
Google 翻訳機、エキサイト翻訳、朝鮮語辞書 小学館、金星出版社

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験2回、課題提出
方式:記述式、リスニング
成績基準: 中間試験 100%
期末試験:定期試験(80%)夏季課題(20%)
最終成績:中間試験成績と期末考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
「韓国の世界へ」WEB 映像・音声
http://text.asahipress.com/text-web/korean/sekainyumon/index.html
上記に記載した WEB で聞き取り、発音の予習・復習に取り組みます。
音声:MP3 レコーダを利用して教科書に記載されてない音声はグーグルクラスルームで音声の確認が出来ます。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 韓国語　Ｉb 英文名: Korean Language　Ｉb			
担当者: 李　辰淑		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「答案返却と解答」　7課午後　時間大丈夫ですか？
[予習内容]: WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り 1 の基本をしっかり理解する。(60 分)

第 2週 7課 ヘヨ体Ｉ、助詞
[予習内容]:ヘヨ体1を正確に理解する。(30 分)
[復習内容]: ヘヨ体１に活用させて音声を聴いて発音し、用言の意味を理解する、助詞の使い分けを理解する。(60 分)

第 3週 8課　小学生に手今度を教えています。
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。 (30 分)
[復習内容]:指示詞、ヘヨ体2の仕組みと意味を正確に理解する。(60 分)

第 4週 8課　ヘヨ体の作り2　、助詞
[予習内容]:ヘヨ体作り2を活用する。(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、ヘヨ体2の仕組み、意味を正確に理解する。(60 分)

第 5週　9課　普通　6時に起きます.
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。く(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り2の仕組みを正確に理解する。(60 分)

第 6週 9課　助詞、 固有数詞
[予習内容]:WEB 学習で固有数詞を理解する。(30 分)
[復習内容]:固有数詞と助数詞を使って例文を作る。(60 分)

第 7週 10課　野球がとても好きです。
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り4の仕組みを正確に理解する。(60 分)

第 8週 「答案返却と解答」
10課　ヘヨ体作り4、～しに
[予習内容]:WEB 学習で発音と意味を理解する。(30 分)
[復習内容]:連結語尾　を使って文章を繋いでみる。(60 分)

第 9週 ヘヨ体1，2，3，4の応用
[予習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の仕組みを正確に理解する。(30 分)
[復習内容]:授業内容をもとヘヨ体1，2，3，4、助詞、連結語尾の使い分けを正確に理解する。(60 分)

第10週 11課　お昼食べませんでした？
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の過去形を活用する。(60 分)

第11週　11課　ㅡ変則用言　否定文　～しない　～くない
[予習内容]:ㅡ変則用言理解しておく。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基にㅡ変則用言の規則、否定文を正確に理解する。(60 分)

第12週 ヘヨ体1，2，3，4の過去形、ㅡ変則用言の応用
「予習内容]:WEB、音声で聞き取りや読めるようにする。(30分)
[復習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の過去形、ㅡ変則用言の仕組みを正確に理解し、応用力で自己表現出来るようにする。(60 分)

第13週 12課:春休みに何をするつもりですか？～でいらっしゃる
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基に尊敬形を理解する(。60 分)

第14週 12課　～するつもりです。～するでしょう
[予習内容]:WEB、音声で聞き取りや読めるようにする。(30分)
[復習内容]:授業内容を基に推量を表す表現に変える。(60分)

第15週 ヘヨ体1，2，3，4　現在形、過去形、ㅡ変則活用の応用と総復習、
[予習内容]:WEB、音声で聞き取り、読み、文法の活用方を理解する。(30 分)
[復習内容]:今までの授業内容を基に自己表現出来るようにする。(60 分)

定期試験:第1週から15週まで授業内容について筆記とリスニング試験(中間考査　、 期末考査)(試験時間　50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで聞き取りや簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ないと思います。
韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にします。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるデイプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせます。

■教科書
(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー
朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税

■参考文献
Google 翻訳機、エキサイト翻訳、
朝鮮語辞書 小学館、金星出版社

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験 1 回、課題提出
方式:記述式、リスニング
定期試験: 中間考査100％
期末試験(80％)冬季課題(20％)
最終成績:中間試験成績と期末考査成績の平均点とします
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
「韓国の世界へ」WEB 映像・音声
http://text.asahipress.com/text-web/korean/sekainyumon/index.html
上記に記載した WEB で聞き取り、発音の予習・復習に取り組みます。
音声:MP3 レコーダを利用して教科書に記載されてない音声はグーグルクラスルームで音声の確認が出来ます。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 韓国語 Ⅱa 英文名: Korean Language Ⅱa			
担当者: 李 辰淑		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 市内市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校の非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 4	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 1課 何学番ですか?
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:初級で学習したヘヨ体作り 1, 2, 3, 4 の現在形、過去形をもう一度正確に理解できるよう復習をする。(60 分)

第 2週 1課 ハム二ダ体 1課 振り返し復習
[予習内容]:CD, 音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]ハム二ダ体作りの現在形、過去形の復習をする。(60 分)

第 3週 2課:韓国語を一所懸命勉強するつもりです。
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を復習する。(60分)

第 4週 2課 ～でしょう、 2課の振り返し復習
[予習内容]:CD,音声を聴いて発音し、内容も理解する。30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を復習する。(60 分)

第 5週 3課: あの靴、ちょっと見せてください。～ だが、～けれど
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を復習する。(60 分)

第 6週 3課:形容詞の連体形 3課の振り返し復習
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項(形容詞の現在形連体形)を正確に理解する。(60 分)

第7 週 4 課: 良く行く韓国料理屋さんがあれば紹介して下さい
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 8週 「答案返却と解答」
4 課:動詞、存在詞の現在連体形
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。
(動詞、存在詞の現在連体形の仕組み)(60 分)

第 9週 4 課 動詞、存在詞の現在連体形、否定文、4 課の振り返し復習
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。 (60 分)

第 10 週 5 課:一緒に写真を添付いたしました。 動詞過去連体形
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。
(動詞の過去形連帯形の仕組み) (60 分)

第11週 5課:～ですね。～ますね、ㅁ変則活用の用言 5 課振り返し復習
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。
(ㅁ変則活用の用言) (60 分)

第 12 週 6課: 発表時間に遅れて申し訳ございません。
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業の内容を基に尊敬語、連結語尾を理解する (60 分)

第 13 週 6 課 : ～で、～ので、動詞・存在詞の 未来連体形・・・する
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業の内容を基に文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 13 週 6 課 : 不可能の意味～できない 6課振り返し復習
[予習内容]:CD、音声を聴いて発音し、内容も理解する。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 14 週 1課～3課まで授業で学んだ内容を文法を用いて応用と総復習
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業の内容を基に文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 15 週 4課～6 課まで授業で学んだ内容を文法を用いて応用と総復習
[予習内容]:CD を聴いて本文の内容の理解と読む練習。(30 分)
[復習内容]:授業の内容を基に文法事項を正確に理解する。(60 分)
ヘヨ体(現在形、過去形)、連体形 (現在形、過去形、未来形、変則)を正確に理解すること。(60 分)

定期試験
第8週から 15 週までの授業内容に基づいて筆記テスト、リスニング試験
期末考査(試験時間 50 分)

授 業 概 要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用が出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。
講義方法は、対面授業開始までグーグルクラスによる発音の確認を行います。講義中には課題などを通して理解を確認します。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ない韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にする。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるデイプロマポリシーE の達成に関与している。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせる。

■教科書
改訂版・韓国語の世界へ(初中級編)
ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー朝日出版社
ISBN978-4-255-55644-4 C1087 ￥2.200+税

■参考文献
★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、
★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社
http://play.google.com/store/

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験 2 回、方式:記述式、リスニング
定期試験: 中間考査100%
期末試験 80%+夏季課題 20%で評価します
最終成績:定期考査(2回)成績の平均で評価します。
90 点以上「秀」GP[4]、80 点以上～90 点未満「優」GP[3]、70 点以上～80 点未満「良」GP[2]、60 点以上～70 点未満「可」GP[1]
60 点未満「不可」GP[0]とします。ただし、再試験に合格し60店以上あると認められた場合は合格(素点)「加」GP[0]とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
下記に記載した CD、音声を聴いて聞き取りが出来るようにすると同時に学習した内容と文法事項を正確に理解して、読み書きが出来るように重ねて予習、復習に取り込みます。
音声ファイル(CD):
http://text.asahipress.com/free/player/Index.html?bookcode=255644
10 月に学修時間に関する調査を実施します。
教科書に記載されてない(練習問題)音声は MP3 レコーダ を利用してグーグルクラスルームにて 音声の確認が出来ます。

■教員所在場所 図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 韓国語 Ⅱb 英文名: Korean Language Ⅱb			
担当者: 李 辰淑		開講年度: 2021年度(令和3年度)	
実務経験の内容: 市内市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校の非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 4	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1 週 「答案返却と解答」
7 課 : 暑い夏にサンゲタンを食べます。
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 2週 7 課～したことがある/ない。 ～でいる。(ㅂ変則活用)
「予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 3週 7 課の振り返し復習 (ㅂ変則活用)
「予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項(ㅂ変則活用) を正確に理解する。(60 分)

第 4週 8課:重たくないので一人でします。～している
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 5週 8課 ～ので。～しますね。 8課の振り返し復習、
[予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 6週 「9 課 パソコン少し借りてもいいですか？
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 7週 :9 課 ～けど ～でもいい ㄹ変則用言 9 課振り返し復習
[予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 8週 「答案返却と解答」
10課 リムジンバスが楽でしょうね！話し手の意思
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項 (ㄹ変則用言) を正確に理解する。(60 分)

第 9週 10課 ～んですよ、～しなければならない 10課振り返し復習
[予習内容]: CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分) [復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 10 週 11 課 陶磁器を作ってみました ～してみましょうか？
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 11 週 11 課 ～してみる～出来る～出来ない 11 課振り返し復習
[予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 12 週 12 課 : 韓国の会社に就職しようと思っています。
[予習内容]:CD を聴いて聞き取りと本文の内容を理解する(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 13 週 12 課～するそうだ/したそうだ/しそうだ～しようと思う
[予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分)
[復習内容]:授業で学んださまざまな連体形の文法事項を正確に理解する。(60 分)

第 14 週 12 課 してはいけない。12 課振り返し復習
[予習内容]:CD、音声で意味と聞き取りが出来る事。(30 分)
[復習内容]:授業で学んだ文法事項を正確に理解する。(60 分)
応用力を身につけて自己表現出来るように学習する(60 分)

第15週 : これまでの応用と 復習
[予習内容]:もう一度今までの本文の内容を聴いて聞き取りが出来るように予習する。
[復習内容]:ヘヨ体作り、連体形 (現在形、過去形、未来形)、変則をもう一度正確に理解して振り返し復習する。(60分)

定期試験
第 1 週から 15 週までの授業内容にづいて筆記テスト、リスニング試験
中間考査、期末考査(試験時間 50 分)

授 業 概 要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用が出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。
講義方法は、対面授業開始めでグーグルクラスによる発音の確認を行います。講義中には課題などを通して理解を確認します。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにします。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ない、韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にする。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるデイプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせます。

■教科書
改訂版・韓国語の世界へ(初中級編)
ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー朝日出版社
ISBN978-4-255-55644-4 C1087 ￥2.200+税

■参考文献
★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、
★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社

http://play.google.com/store/

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験 2 回、方式:記述式、リスニング
定期試験: 中間考査100%
期末試験 80%+冬季課題 20%で評価します
最終成績:定期考査(2回)成績の平均で評価します。
90 点以上「秀」GP[4]、80 点以上～90 点未満「優」GP[3]、70 点以上～80 点未満「良」GP[2]、60 点以上～70 点未満「可」GP[1]
60 点未満「不可」GP[0]とします。ただし、再試験に合格し60店以上あると認められた場合は合格(素点)「加」GP[0]とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
下記に記載した CD、音声を聴いて聞き取りが出来るようにすると同時に学習した内容と文法事項を正確に理解して、読み書きが出来るように重ねて予習、復習に取り込むことです。
音声ファイル(CD):
http://text.asahipress.com/free/player/Index.html?bookcode=255644
教科書に記載されてない(練習問題)音声は MP3 レコーダを利用してグーグルクラスルームにで音声の確認が出来ます。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 技術と倫理 a 英文名: Engineer Ethics			
担当者: 齊藤公博 安井宣仁		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:企業における研究開発業務の経験		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 5	開講期: 前期	コース: 全
科目種別:選択	単位数:1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

本科目は、第 1 週～第 7 週までを齋藤が担当し、第 8 週～第 15 週までを安井が担当する。

(斎藤担当分)

第 1週 「ガイダンス、技術者倫理とは？」
[予習内容]:技術者倫理に関わる近年の社会的問題事例を調べること(60 分)
[復習内容]:講義内容を復習し、理解すること(30 分)

第 2週 「技術者にとっての法律」
[予習内容]:テキストをよく読み、技術者に関わる法律について調べること(60 分)
[復習内容]:講義内容を復習し、理解すること(30 分)

第 3週 「産業財産権、倫理綱領」
[予習内容]:知的財産権について予習すること(60 分)
[復習内容]:課題1を完成させること(30 分)

第 4週 「技術者の義務と責任、倫理的問題解決方法」
[予習内容]:講義内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義内容を復習し、理解すること(30 分)

第 5週 「事例研究:シティ・コープタワーの危機」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:課題2を完成させること(30 分)

第 6週 「事例研究:スペースシャトル・チャレンジャー号事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義資料をよく読み内容を整理すること(30 分)

第 7週 「事例研究:スペースシャトル・チャレンジャー号事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:課題3を完成させること(30 分)

(安井担当分)

第 8週 「土木技術者の倫理」
[予習内容]:第1～7 週の講義内容の復習と倫理観について予習すること (60 分)
[復習内容]:講義資料の内容をより深く理解すること (30 分)

第 9週 「技術者としての在り方」
[予習内容]:技術者として在るべき倫理観について予習すること (60 分)
[復習内容]:講義資料の内容をより深く理解すること (30 分)

第10週 「事例研究:姉歯耐震偽装問題(構造計算書偽装)」
[予習内容]: 事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]: 配布資料の内容を理解すること (30 分)

第11週 「事例研究:姉歯耐震偽装問題(構造計算書偽装)～再発防止策について～」
[予習内容]:具体的な再発防止策について検討する(60 分)
[復習内容]:配布資料をよく理解し復習すること(30分)

第12週 「事例研究:六本木ヒルズ自動回転ドア事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:配布資料をよく理解し復習すること(30分)

第13週 「事例研究:六本木ヒルズ自動回転ドア事故～重大事故の予兆と対応～」
[予習内容]:重大事項の予兆、ヒヤリハットについて予習すること(60 分)
[復習内容]:配布資料をよく理解し復習すること(30分)

第14週 「事例研究:雪印乳業食中毒事件」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:配布資料をよく理解し復習すること(30分)

第15週 「事例研究:雪印乳業食中毒事件 ～ゼロリスクについて～」
[予習内容]:リスクとは何か理解を深めておくこと(60 分)

授 業 概 要

■授業概要・方法等

近年の度重なる重大事故や企業の不祥事など技術者の倫理観に関わる諸問題について、自分自身の問題として考えさせます。科学技術が人類の発展にとって重要なものになり、それを担う技術者の行動が社会におよぼす影響の重大さを認識させます。倫理的問題に直面したときに技術者として正しく行動できる能力を養成します。

■使用言語

日本語

■学習・教育目標および到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、
1. (C-G2)人間社会と科学の関係、技術者としての責任について正しく判断する。
2. (C-G2)企業の一員として必要とされる法律的知識を新たに習得する。
3. (D-G2)技術者の行動指針を立てることができ、それを遵守する心を習得する。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC,D の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法

適宜、レポート課題の内容について解説する。

■教科書

使用しない。適宜プリントを配布します。

■参考文献

「技術者倫理」札野順著 放送大学教育振興会
ISBN-978-4595315701
「技術者倫理の世界」藤本温編集 森北出版 ISBN-978-4-627-97303-9
土木学会 「土木技術者倫理問題」 丸善出版 ISBN978-4-8106-0939-4

■関連科目

倫理a, b

■成績評価方法および基準

定期試験:筆記試験は行わず、レポート課題(100%)で評価する。
齋藤担当分と安井担当分のレポート課題の平均点を最終評点とする。
(齊藤担当)
レポート課題全 3 回 (1 課題 33.3%)
レポート提出期日を過ぎての提出は減点し評価する。
レポートの評点は相対評価にて各課題を採点する。
(安井担当)
レポート課題全 4 回 (1 課題 : 25%)
レポート提出期日を過ぎての提出は減点し評価する。
レポートの評点は相対評価にて各課題を採点する。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修

授業で指示された課題やレポートに取り組むこと。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所

齊藤公博:本館2F 地域連携テクノセンター、
安井宣仁:本館 2 階教務部

■授業評価アンケート実施方法

10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス

ksaitoh@ktc.ac.jp (齊藤)
nyasui@ktc.ac.jo (安井)

■オフィスアワー

齊藤:水曜日 12:20～13:00、安井:火曜日 12:15～13:00

科目名: 技術と倫理 b 英文名: Engineer Ethics			
担当者: 井戸辻吉三　中村信広		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:電気技術者として勤務後、社長を担当。(井戸辻)		アクティブ・ラーニングの形態: プレゼンテーション ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム工学科	学年: 5	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第16週 「倫理と法」
[予習内容]:第1～15週の講義内容の復習、及び倫理と法の関係について予習すること (60 分)
[復習内容]:講義資料の内容をより深く理解すること (30 分)

第17週 「倫理綱領について」
[予習内容]:各学会の倫理綱領を予習すること(60 分)
[復習内容]:倫理綱領発行の意味内容を理解すること (30 分)

第18週 「事例紹介:倫理と社会」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:配布資料の内容を理解すること (30 分)

第19週 「事例研究:東海村 JCO 臨界事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:配布資料の内容を理解し復習すること (30 分)

第20週 「事例研究:原子力発電所の事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]: 調査内容を整理し理解すること(30 分)

第21週 「事例研究:原子力発電所の事故グループ討議」
[予習内容]:グループ討議で自分の意見を発表出来る様予習すること(60 分)
[復習内容]:グループ員と自分の意見を纏めること(30 分)

第22週 「事例研究:原子力発電所の事故発表及び討議」
[予習内容]:発表討議について自分の役割予習こと(60 分)
[復習内容]:他の人の意見と自分の意見を纏めること(30 分)

第23週 「技術者の倫理」
[予習内容]:第16～22週の講義内容の復習と倫理観について予習すること (60 分)
[復習内容]:講義の内容をより深く理解すること (30 分)

第24週 「事故研究:チェルノブイリ原発事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容を理解すること (30 分)

第25週 「事例研究:志賀原発臨界事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容を理解すること (30 分)

第26週 「事例研究:信楽高原鉄道正面事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容をよく理解し復習すること(30分)

第27週 「事例研究:福知山線脱線事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容をよく理解し復習すること(30分)

第28週 「事例研究:常磐線三河島での列車事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容をよく理解し復習すること(30分)

第29週 「事例研究:餘部鉄橋列車転落事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分)
[復習内容]:講義の内容をよく理解し復習すること(30分)

第30週 「事例研究:桜木町駅火災事故」
[予習内容]:事例研究の内容について予習すること(60 分
[復習内容]:講義の内容をよく理解し復習すること(30分)

定期試験
筆記試験は行わず、レポート課題(100%)で評価する。

授 業 概 要

■授業概要・方法等
近年の度重なる重大事故や企業の不祥事など技術者の倫理観に関わる諸問題について、自分自身の問題として考えさせます。科学技術が人類の発展にとって重要なものになり、それを担う技術者の行動が社会におよぼす影響の重大さを認識させます。倫理的問題に直面したときに技術者として正しく行動できる能力を養成します。
設計、研究開発での実務経験をもとに、上記の内容について解説します。

■使用言語
日本語

■到達目標
受講者はこの授業を履修することによって、
1.(C-G2)(C-2)人間社会と科学の関係、技術者としての責任について正しく理解する。
2.(D-G2)(D-2)技術者の行動指針を立てそれを遵守する心を持つ。
3.(C-G2)(C-2)企業の一員として必要とされる法律的知識を新たに習得する。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー C,D の達成に関与しています。

■教科書
使用しない。適宜プリントを配布します。

■参考文献
「技術者倫理」札野順著　放送大学教育振興会
(ISBN-13:978-4595309311)、
「技術者倫理の世界」藤本温編集　森北出版
(ISBN 978-4-627-97303-9)

■関連科目
倫理a, b

■成績評価方法および基準
定期試験:筆記試験は行わず、レポート課題(100%)で評価する。
最終成績:各教員がレポート 100%で評価し、2 教員の平均とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。
配点基準は、内容の把握(40%)、背景・経緯の把握(30%)、考察(30%)とする(井戸辻)。課題に記載しているそれぞれの問題点についての考察のみで評価します(中村)。

■授業時間外に必要な学修
授業で指示された課題やレポートに取り組み期日までに提出すること。発表練習は必ず各自で行うこと。2 月に学修時間に関する調査を実施します。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
井戸辻:3 号館1F 電気電子教員室、 中村:本館 2 階教務部

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
idotsuji@ktc.ac.jp(井戸辻)
nakamura_nobuhiro@ktc.ac.jo　(中村)

■オフィスアワー
井戸辻:火曜日 12:15～13:00、中村:平日　12:15～13:00